



◎ 特集

犯罪を防ぐ～防犯は地域が主役～

繁華街を夜間パトロールする市防犯隊

最近『地域の安全は地域で守る』と言われる。みんなが笑顔で暮らせる安全なまちにするために、市内での犯罪状況や地域で活躍する防犯隊の活動、ボランティアの皆さんの取り組みを紹介します。

平均2・4件

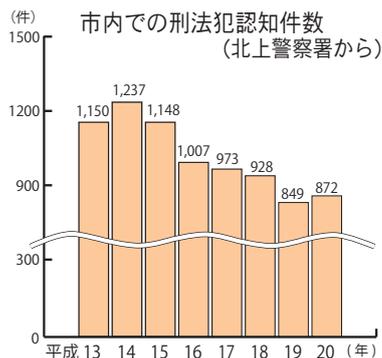
これは、市内で起こる一日の犯罪件数です。

県内の状況を見ると、警察が把握した発生件数(刑法犯認知件数)は、平成13年の1万5125件をピークに19年まで6年連続で減少していましたが、20年は前年と比べて9件増加し、9111件でした。

市内に目を移すと、グラフのように、14年の1237件をピークに5年連続で減少してきましたが、20年は872件と増加。これは一日平均約2・4件の犯罪が起きていることとなります。

身を守るために

このように犯罪は、自分とは関係のないところで起きているものではなく、わたしたちの身近でも起こり得ます。犯罪に巻き込まれてしまうことは、他人事とはいえない状



況です。

では、どのように自分の身を守ったらよいのでしょうか。住民の安全を守っている北上警察署生活安全課生活安全係長・伊藤勝司警部補に、市



北上警察署
生活安全課生活安全係長
伊藤 勝司 警部補

市内での侵入犯などの状況はどうなっていますか？

空き巣などの侵入犯罪や自転車泥棒、車上狙いは、6割割鍵を掛けていなかったた

市内での犯罪状況と合わせて、お聞きします。

市内で多い発生犯罪(平成20年)

	犯罪名	件数	前年比
1	自転車泥棒	207	+14
2	万引き	96	-10
3	空き巣などの侵入犯罪	69	+4
4	車上狙い	55	+4
5	自動販売機狙い	40	+6

北上警察署から

振り込め詐欺のパターンはこの4つだ！

●オレオレ詐欺

家族、警察官、弁護士などになりすまし、交通事故や借金などのトラブル処理のために、現金を振り込ませようとしています。

電話を切った後、すぐに振り込まず、家族、知人、警察などに相談しましょう。

警察官や弁護士などを名乗ったら、所属や名前を聞き、N T Tの番号案内(104)で調べて、確認の電話を掛けましょう。



●架空請求詐欺

インターネットなどの有料サイトの利用料や情報料、借金の請求などをでっち上げ、はがきや電子メールを送りつけて現金振り込みを要求します。

身に覚えがない請求は無視しましょう。電話や電子メールから個人情報が出てしまいますので、問い合わせはしないことが大切です。

※発信元が裁判所の場合は、電話番号を調べた上で、必ず裁判所に確認してください。



●融資保証金詐欺

「担保・保証人なしで高額融資」「多重債務を一本化」などとダイレクトメールや電子メールで融資の勧誘を行い、申込者に保証金や手数料などの名目で現金振り込みを要求します。

正規の金融業者が、融資前に保証金などの振り込みを求めることはありません。



●還付金等詐欺

税務署や社会保険事務所などの職員を装い、税金や年金の払い過ぎ分を返還すると偽って、コンビニエンスストアや無人のATM(現金自動預払機)に誘い出し、指示に従ってATMを操作するよう要求します。

ATMの操作を求められたら、詐欺だと思いましょう。



振り込め詐欺の被害は、県内で北上市が最も多く発生しています。少し前まで、皆さんがよく耳にされている、高齢者を対象にした「オレオレ詐欺」が多く発生していました。最近

不審者による高校生以下の児童、生徒に対しての声掛けは、犯罪までには至っていませんが、数多く発生しています。夕方、下校中の道で、小学

警察では、12月15日～22年1月3日までの間、年末年始特別警戒活動を実施します。年末年始は、金融機関やコ

コンビニエンスストアなどを狙った強盗、空き巣や事務所荒らしなどの窃盗事件などの増加のほか、暴力団の違法・不当な資金獲得活動が予想されます。このような事件に遭わないためには、コンビニエンス

また、暴力団から「門松」しめ縄などの販売に名を借りた不当な金銭の要求があった場合は、警察署に通報してください。

市内での振り込め詐欺の状況を教えてください

少しの間、出掛けるときでも鍵を掛けるようにし、被害に遭わないようしてください。

市内でも不審者が出没しているのでしょうか？

は、若い人を中心に「架空請求詐欺」の被害が増えています。今年10月末までで9件、約1000万円の被害が発生しています。また、お金ではなく、印紙を要求するケースもあります。怪しい電話や請求があった場合は、一人で判断しないで家族や知人、警察に相談してください。

これからの時期に向けて

また、秋ごろから、中高生の女の子に抱きつくなどの被害も発生しています。被害に遭わないためにも、明るく人目のある道路を通ったり、帰りが夜遅くなった場合は、家の人などに迎えに来てもらうなどしてください。

平成20年中の県内での不審者の声掛け発生状況

時間帯		割合(%)
1	夕方(15:00～18:00)	51.3
2	昼過ぎ(12:00～15:00)	17.1
3	夜(18:00～24:00)	16.4

場所		割合(%)
1	道路(市町村道など)	68.4
2	道路(国・県道沿い)	20.4
3	公園	3.3

児童・生徒の行動		割合(%)
1	下校時	66.7
2	遊び中	16.9
3	登校時	7.8

岩手県警察本部から

地域の安全安心を 目指して

市内から犯罪や非行をなくし、明るく住みよいまちをつくらうと、市では北上市防犯協会防犯隊（八重樫章三隊長）を組織して、地域の防犯活動に取り組んでいます。隊員は、153人。

活動は市内を8地区に分け、犯罪が起きやすいとされている夜間を中心に、定期的にパトロールを行っています。

また、北上警察署と合同で、市内金融機関のATM警戒活動も行っています。この活動は、振り込め詐欺の被害防止のため、年金の振込日に合わせて行っています。また、地域性に合わせた活動もしています。防犯隊第



市防犯隊第2地区
菅原 克郎 部長(上野町)

夜間パトロールしていると、自転車の無灯火運転が目立つので、ライトの早めの点灯を。また、駐輪場などで鍵を掛けている自転車が多いので、鍵を掛けるなど犯罪に巻き込まれないように注意してください。



振り込め詐欺防止のため、市内金融機関で行っているチラシ配布活動

1、2地区では繁華街を、第8地区では電車内で犯罪に巻き込まれないよう、電車内もパトロールしています。

ほかにも、季節ごとの地域安全運動では、一人で生活している高齢者などに、外出のときは鍵を掛けるよう呼びかけたり、地域内のコンビニエンスストアなどの店舗を回り、子どもの安全を守るため、不審者がいた場合、警察に通報

するなどの情報提供をお願いしたりしています。また、北上みちのく芸能まつりなどのイベントに合わせた警戒活動もしています。街や観光地の美しい風景を保つため、違法な広告物を取り除いたりしています。

このように安全安心なまちづくりのために、活動を行っています。

八重樫隊長は「夜間パトロールや全体的な行事で活動し、犯罪を未然に防止できるように活動しています。犯罪は地域で防ぐものだと考えています。防犯隊の活動だけでなく、皆さん一人一人が犯罪に対する知識を身につけることが大切。犯罪に巻き込まれないよう皆さんに情報などを提供していきたい」と力強く話していました。



違法広告物を見つけ、除去する様子

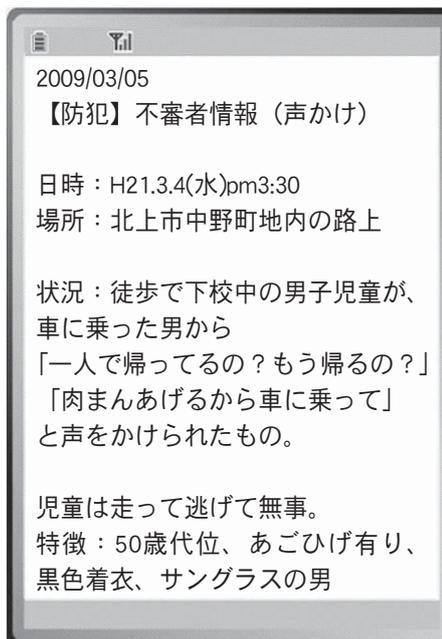
子どもを守るためのメール情報配信

北上地区防犯協会連合会は、平成20年4月から「携帯情報メール配信事業」を行っています。この事業は北上市と西和賀町、北上警察署が連携し、市民や関係機関・団体が安全安心のまちづくりにつなげようと始めたものです。

配信される内容は、不審者情報、犯罪発生状況、検挙情報など子どもを守るため、地域の安全安心のために役立つ情報を発信します。情報によっては地図も添付され、正確な位置情報も分かります。また皆さんからの不審者情報、地域の防犯活動の情報なども受け付けていますので、ぜひ登録してご活用ください。配信希望者は、下記QRコード、またはアドレス <http://sc.machicomi.jp/kitag034/> から同連合会のホームページにアクセスしてください。登録は無料、通信費は自己負担となります。



<実際の配信内容>



地域で見守る 子どもの安全

いたずらや誘拐など、子どもを狙った事件が全国で相次いでいます。

市内でも、不審者が路上で子どもに声を掛けていたなどの目撃情報が寄せられています。子どもの被害を未然に防ぎ、安心して暮らせるために、18小学校区すべてでボランティアが通学路などを見守る活動をしています。

ここでは、黒沢尻北地区の活動例を紹介します。
黒沢尻北地区は、黒沢尻北小学校に通う児童が犯罪や交通事故に巻き込まれないよう



登下校で児童の数が多き小学校周辺で活動を行っています



小学校から離れた通学路でも見守り活動が行われています

に、「子どもを見守る会」(佐藤重一代表)を地域住民のボランティアで結成し、通学路などで見守っています。

結成のきっかけは、それまで児童の登下校をパトロールしていた団体が、高齢化のために活動を中止することになり、小学校から相談を受け

た黒沢尻北地区自治振興協議会・交流センターなどが地域の防犯問題と考へ、地域住民にボランティアを募集。平成20年4月に、地域のボランティア活動として立ち上げました。

活動は、『できる人が縛られることなく、強制されることなく、できるときに、無理なく、協力しあい楽しく』をモットーにして、頑張りすぎないように、地域ボランティアが参加できる時間に活動しているのが大きな特徴。通学路に立つて活動しなくても、自転車や地区内の見回りをしたり、パトロール服を着て買い物に行き、その途中で見守り活動を行うなど、それ



黒沢尻北小学校PTA事務局の皆さんにお聞きしました

- ・元気がないとか子どもの細かいところまで見てもらっています。
- ・低・高学年で下校時間が違うのに、その時間帯に合わせて見守り活動をしていただき、感謝しています。
- ・本来なら、親がやらなければならない見守り活動をしていただき、ありがとうございます。



地区内を自転車で見回る人も

ぞれができる活動をしています。

ボランティア活動している黒沢尻21区の塚本政夫さん(常盤台)は、「防犯だけではなく、交通安全にも気を配っています。子どもたちのあいつや笑顔を励みに、楽しく活動しています。子どもたち

から感謝の手紙をもらったときは、うれしかった」と笑顔で話していました。

いつ、どこで犯罪に巻き込まれるか分からない中で、このような市防犯隊や地域ボランティアの活動は、犯罪を未然に防ぐことに大きな力となっています。そして、何よりも、地域や自分の身を守るために大切なことは、防犯意識を今よりも高めていくことです。

皆さんも、地域や自分の身を守るため、家族や近所の人と話し合ったり、周囲に目を向けることで、今より少しだけ防犯について、意識を高めてみませんか。

問い合わせ

- 北上警察署 ☎ 61-0110
- 市防犯協会防犯隊 (事務局 生活環境課) ☎ 64-2111
- 黒沢尻北地区「子どもを見守る会」 (事務局 同地区交流センター) ☎ 65-1941